



# 1月 ほけんだより

こども未来局  
保育・子育て推進部

令和8年1月1日  
下小田中保育園



あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいたします。

年末から溶連菌感染症や感染性胃腸炎などの感染症が園児の間で流行し始めました。気温の低下や乾燥の影響で、インフルエンザや診断名のつかない、いわゆる風邪など流行する可能性がありますので、基本的な感染対策を引き続き行っていきます。1階廊下に掲示してある「感染症情報」も参考になさってください。

**感染症と診断されたら・・・保育園にお電話またはコドモンでご連絡ください。**

★年末年始に登園許可の必要な病気に感染した場合も、登園時には登園許可書をご持参ください。

ただし、インフルエンザ感染症は除きます。

発熱した後に解熱し、体調が回復したところで未受診のまま登園し、その後の検査で感染症と診断されたケースが複数ありました。はっきりとした症状が出ない感染症もありますが、特にインフルエンザは一度解熱して再度発熱するという独特の熱型（二峰性熱型）が見られます。

病院の予約が取れにくい状況だと思いますが、発熱や咳、発疹など、感染症等が疑われる症状の場合は、受診をして医師の診断を仰いでから登園してください。

なお、同居のご家族の方が感染症と診断された場合、保育園園舎内ではなく、玄関先での送迎をお願いする場合がありますので、必ず保育園にお知らせください。

また、感染症は熱だけでなく、咳（例-百日咳）、発疹（例-水痘、溶連菌感染症、伝染性膿痂疹）、目やに（例-流行性角結膜炎）など様々なことが原因で感染します。これらはすべて医師が登園可能であると診断する必要がありますので、今一度ご確認ください。

～コドモンに病欠を入れる際のお願い～



- ①いつから ②どんな症状
- ③検査内容（検査した場合のみ）
- ④結果と診断名
- ⑤医師の判断による登園可または不可（いつから登園可能か）

以上5点について入力をお願いします。

子どもにとっての安静とは…。

熱が出てお休みしていても、元気に遊んでいたりと、「子どもが安静に寝てくれない」という保護者の話を耳にしたことがありました。大人と違ってジッと出来ないのが子どもです。では、子どもにとっての安静とはどんなことでしょうか。

保育園は集団生活のため、ある程度の配慮は可能ですが、一日のスケジュールはクラスによってほぼ決まっています。自分の好きな時間にお気に入りの場所でゴロゴロしたりウトウトしたり、好きな時間に好きなものを好きなだけ食べたり、お気に入りのおもちゃでいつでもじっくりと遊べるということが、子どもにとっての安静かなと思います。これは、保育園ではなかなかできないことです。

感染拡大防止のため、手洗いやうがいの必要性は三者連携の集会で、丈夫な体づくりは日々の運動で、適宜空気の入替えを行い、適切に環境を整えていきます。



イラスト出典：メイト